

PART6

施設の利用について

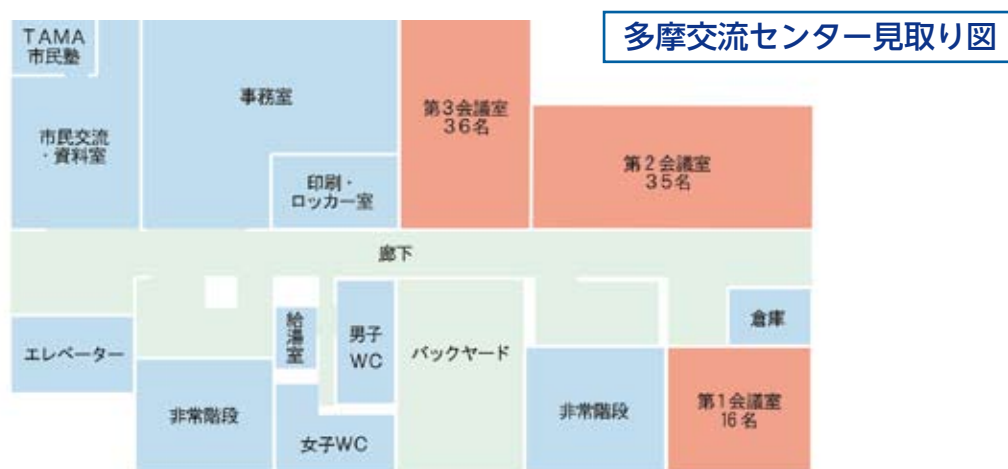
交流の場の提供



1. 会議室及び施設等の紹介

多摩交流センターの役割の一つとして、「広域的市民ネットワーク活動に対する交流の場」の提供がある。当センターは開設以来、「府中駅北第2庁舎6階」を府中市から賃借し、活動と交流の場として市民団体等への提供を継続している。

主なものは、会議室・印刷室等の提供である。なお、市民交流・資料室では多摩地域の様々な情報を閲覧することができる。



① 会議室

現在、3つの会議室を市民団体等に貸し出している。

会議室利用区分

会議室	定員	付帯設備	区分		
			午前	午後	夜間※
第1会議室	16名	ホワイトボード・テレビ・DVDプレーヤー	9:00	13:00	18:00
第2会議室	35名		∩	∩	∩
第3会議室	36名		12:00	17:00	21:00

※日曜日は休館(夜間)

この他にプロジェクター、パソコン、CDラジオカセットテープレコーダー、マイク（有線・無線・タイピン型）、スクリーン、レーザーポインター、譜面台、電気ポット等を無料で貸し出している。

なお、第1会議室は他の会議室から離れているため、楽器やマイクを使用する音楽団体等の利用に供している。

② 市民交流・資料室

エレベーターフロアの正面にある市民交流・資料室は扉がなく、入り口以外も廊下に面する部分はガラス張りで、オープンなスペースとして提供している。資料や図書の閲覧、会議室利用者の待ち合わせ等多目的に活用されている。会議室利用の来館者が多いときは、休憩のスペースとして交流室も賑わい、様々な声が事務室に響いてくる。交流室には、ビデオ併用の大型テレビが置かれ、希望に応じて利用できる。

平成15年度から、印刷室内にあったTAMA市民塾のスタッフコーナーが手狭となったため、市民交流・資料室内に移設している。

★登録団体等の活動紹介の場の提供

当センター開設20周年事業として実施した「登録団体等の活動の場の提供」では、「市民交流・資料室」を展示スペースとして20団体が活用した。この展示の状況と成果については24ページ「PART2・多摩交流センター開設20周年記念事業」に記載する。なお、展示利用と合わせて設置する机も移動できるものに変更し、今後もより多目的に活用できるスペースとしている。

【資料一覧】

- ・(公財) 東京市町村自治調査会調査・研究報告書
- ・「TAMAらいふ21」関係資料
- ・多摩地域30市町村広報紙
- ・市町村刊行物
(子育て・暮らし・ウォーキングガイド等)
- ・団塊セカンドライフ関連書籍
- ・助成事業報告書、助成事業公演ライブラリ
- ・多摩地域書
(自然・生活・文化・歴史・あゆみ)
- ・NPO、各種刊行誌コーナー
- ・東京都刊行物(統計・その他)



市民交流・資料室

③印刷室

印刷室は、当センターの施設・設備の中でもよく利用されている。印刷機、コピー機を各1台ずつ設置し、利用登録団体に対し利用提供してきた。

印刷機利用料は平成27年2月現在、1枚につき0.3円（用紙持込）、コピー機利用料は、1枚につき10円（用紙込み）としている。今後は、会議室登録団体からの要望を受け、カラーコピー機の導入も検討している。

平成27年2月現在		
利用可能設備	利用料金	
コピー機、印刷機、 ペーパーカッター、紙折り機、丁合機	印刷機	0.3円/枚（用紙は利用者が用意）
	コピー機	10円

印刷室にはロッカー及び棚を設置し、抽選により1年ごとの利用が出来る。平成27年2月現在、ロッカーは51箇所、棚は38箇所設置している。

④会議室・施設の利用登録

利用するためには、会議室利用（印刷室利用も含む）団体としての登録が必要で、助成団体の対象となる場合の要件と同様、広域的な市民活動を行う団体であることを要件としている。（詳しくは111ページ参照）登録の有効期間は最大3年間で、登録の更新を希望する団体には書類審査の結果、更新を認めている。

会議室の利用は無料で、3ヶ月前からの予約制としている。開設当初から、「TAMAらいふ21」参加団体などに対し優先的利用を認めていたが、平成15年度以降はすべての登録団体を同じ扱いとしている。ただし、当センターとの協働で運営しているTAMA市民塾の講座用には、一定の範囲内で優先的に提供している。

会議室利用登録団体数の推移をみると、平成7年度は33団体であったが、徐々に増加し、近年では120～130ほどの団体数で推移している。平成26年度は128団体（平成26年11月1日現在）である。登録団体の一覧は、114ページ「多摩交流センター会議室利用登録団体一覧」に記載する。

⑤今後に向けて

会議室や、市民交流・資料室の利便性の向上を図るための工夫や、設備の更新などを検討し、市民の自主的な広域的活動が発展するよう、今後もニーズに適した対応を図っていく必要がある。

【参考】

●多摩交流センター会議室の登録・利用までの流れ

Ⅰ．登録希望団体は、次表の登録要件を満たしているかを確認する。

①	団体の設立・活動目的がセンター設置趣旨に適合し、広域的な市民の交流活動を志向するものである
②	団体の活動内容が多摩地域のまちづくりに貢献できるものであり、かつ、公序良俗に反しないものである
③	団体の本拠地が、多摩地域内にある。あるいは、多摩地域内がないことに相当な理由がある
④	多摩地域内における広域的な地域で市民活動を行っている団体である
⑤	多摩地域内の複数の市町村の住民10名以上の会員によって構成され、かつ、 ア、一市町村の会員数が全体の7割以内である イ、多摩地域内の会員数が全体の7割以上である
⑥	会員の資格については、広く誰もが参加できる団体である
⑦	団員の規約及び会員名簿が備えられている
⑧	会費等会員が負担する費用について、低廉となるように努めている
⑨	会費の用途については、社会通念に照らし適切に処理されている
⑩	特定の政党及びこれに類する政治団体・グループ及び宗教活動や営利活動を目的とする団体ではない



Ⅱ．登録の申請（当センター事務室にて必要書類を受け取る）

○申請時必要書類

- ①会議室利用団体登録申請書（施設運営要綱別記様式第1号）
- ②団体の規約または会則もしくはこれに準ずるもの
- ③団体の会員・役員名簿
- ④予算・決算書類など会費の用途が分かるもの



事務処理期間（2週間程度）

→結果は電話にて連絡。その後当センターで利用の詳細説明。

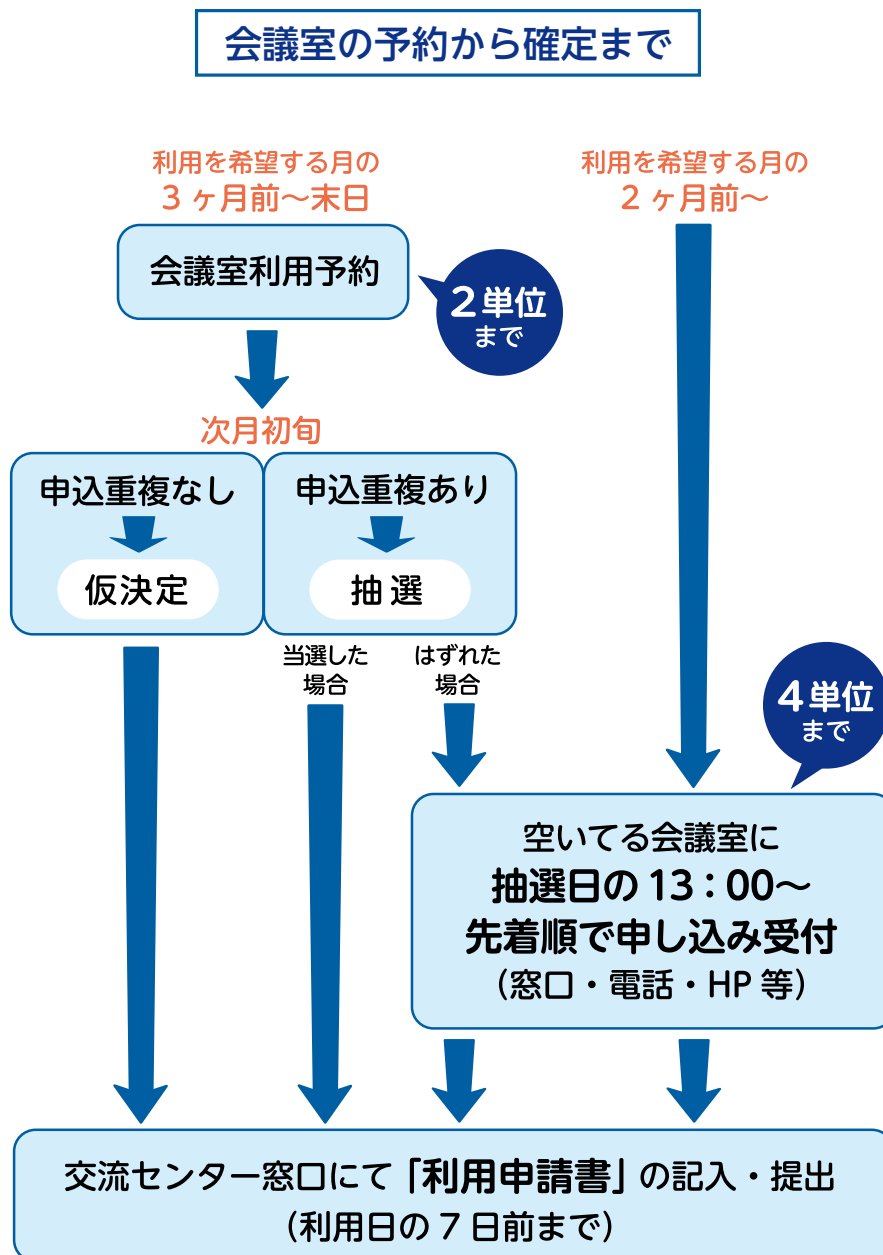


Ⅲ．会議室を申し込む

112 ページの「会議室の申込み方法」に則って申込みを行う。

●会議室の申込み方法

- ・ 会議室の予約は、当センター窓口、電話、当調査会ホームページ等で行うことができる。
- ・ 1団体の利用回数は、原則、一月につき最大4単位（午前・午後・夜間の区分を以下「単位」という。）までとしている。ただし、予約申込は2単位までである。
- ・ 使用希望日時が他団体と競合した場合は、公開で抽選を行う。
- ・ 抽選結果、会議室の空き情報は、当センター窓口、電話、当調査会ホームページ等で確認することができる。
- ・ 当センター窓口にて「会議室利用申請書」を記入し、承認された時点で申込み確定となる。



2. 登録団体のあゆみと活動状況

分野別登録団体の状況

設立以来多くの市民団体に利用されてきた多摩交流センターだが、その登録団体は活動のジャンルも、活動地域も、団体の成り立ちや歴史も実に多様である。

当センターに登録する以前から結成していた団体もあれば、TAMA 市民塾の講座終了後に受講生同士が集まって結成した団体や、助成事業から登録団体になる場合もある。

現在でも新たに会議室利用団体の登録を申請する団体は多く、またその逆に 20 年以上活動を続けている団体もあり、その歴史は様々である。

このように、登録団体の成り立ちや歴史、活動ジャンルは多岐にわたり、様々な点で当センターは、広域的市民ネットワーク活動の場として活用されている。

分野別登録団体数一覧

平成26年11月1日現在

	音楽	演劇	芸能	健康・ダンス・スポーツ	語学	朗読	文芸・教養	歴史・文化	旅	写真・映像	書道・篆刻	絵画	きりえ・折紙	花	手工芸	暮らし・福祉	野外活動	その他	合計
H24	11	4	3	5	12	5	16	8	4	4	3	17	3	2	4	18	4	4	127
H25	11	3	3	6	11	6	18	7	4	5	3	17	3	2	4	16	3	4	126
H26	10	3	4	6	10	6	19	8	4	4	3	18	3	2	2	18	4	4	128

活動風景



ヨーロッパの田舎ウィークエンドの手工芸



エンジョイペインティング



彩々の会



コカリナサークルくるみ

多摩交流センター会議室利用登録団体一覧

平成 26 年 11 月現在

分野	団体名	活動内容	活動日	会費(円)
音楽	リコーダーアンサンブル風雅	リコーダーの合奏練習	1,3月曜の午前	1,000/月
	コカリナサークルくるみ	コカリナ(木製の小さな笛)の演奏	木曜の午後 (月2回)	2,000/月 +1,000/年
	F & F	フルートアンサンブル	1,3火曜の午前	2,000/月
	リコーダーアンサンブル華音	一人ではできないリコーダーアンサンブルの楽しさを味わう	2,4月曜の午前	2,000/月
	美空ひばり学会	昭和の歌謡史を通じて、その時代・文化等を幅広い世相の歩みの中で学ぶ	月1回	300/月
	合唱ミュージカル VIVA!TAMA実行委員会	舞台活動(音楽分野)による社会参加	水曜の夜間 (月2回)	1,000/月
	佛文化研究会シャンテ	シャンソンを通じてフランスの文化を学ぶ	1水曜の午後と 3火曜の夜間	1,000/回
	ブーケ・ド・シャンソン	音楽を通して多摩地域の文化活動の発展と歌唱力の向上を図る	2月曜の午後	1,000/月
	ウクレレサークル「ポノポノ」	ウクレレ技術の向上、会員同士の親睦、多摩地域の文化・芸術の発展に貢献する	1,3日曜の午後	1,700/回
	ウクレレサークル「バナバナ」	ウクレレ技術の向上、会員同士の親睦、多摩地域の文化・芸術の発展に貢献する	1,3日曜の午後	1,000/回
演劇	葵の会	演劇活動を通じて地域と交流を図る	1,3火曜の夜間	1,000/月
	アルテシア2001	多摩地域においてプレイバックシアターに関する体験的活動を行う	月1回	なし
	朗読劇の会「ひびき」	演劇と朗読の楽しさを併せた朗読劇を通して心身の健康を図る	金曜の午前	1,500/月
芸能	町かど芸能の会	皿まわし・南京玉すだれ・手品等の練習	3か4月曜の午後	なし
	府中青樹会	謡曲の修練を通して日本古典文学に対する理解を深め、地域の文化的発展に貢献する	土曜の午前 (月2回)	2,500/月
	落語長屋	落語の鑑賞と研究。落語に関する名所訪問	3木曜の午後	3,000/半年
	マジマジ会	マジック技法の向上を通じて仲間づくりをはかる	1,3金曜の午後	500/月
健康・ダンス・スポーツ	ブア・パウオレ・フラ	フラダンス	火曜か金曜の午後 (月1回)	700/回
	T A M A 游気の会	易しく穏やかな気功法を学ぶ	2,4火曜の午前	2,000/月
	らく楽健康体操の会	中高年の健康維持のための体操	1金曜の午前	500/月
	バレエD Eストレッチ	健康に関するバレエストレッチ活動	2,4木曜の午前	2,000/月
	ヨガの会	ヨガを通じて健康な身体を知り、多摩地域の人たちと交流を図る	2,4日曜の午前	1,000/月
	スポーツ吹矢「いびき会」	スポーツ吹矢の普及と、技術の習得を通じての健康づくり、仲間づくり	日曜の午前2回 土曜の午後1回	1,000/月
語学	ナイスライフ・ネットワーク	中国の文化や生活習慣等を中国語で読み書きする	1火曜の午前	500/月
	T A M A 中国語会話 同好会	自由会話を楽しみながら中国語を学ぶ	2,4水曜の午後	2,500/月
	日中交流学習会	中国語の学習を通じて会員相互の親睦をはかる	土曜の夜間 (月3回)	3,000/月
	中国文化研究会	中国語の勉強を通して、知識の向上と会員相互の親睦を深める	1,2,3木曜の夜間	10,000/3ヶ月
	楽しい中国語	中国の言語や文化、風土について学ぶ	2,4木曜の午前	2,000/月
	你好あんずの会	中国語・文化を学ぶ(中級程度)	2,4土曜の午後	1,500/月
	本気で学ぶ中国語の会	中国語の会話・発音・文法を基礎から学ぶ	1,3木曜の午前	2,000/月
	ハングルで話そう	韓国語や韓国文化の学習を通じて、日韓交流の一助とする	1,3土曜の午後	500/回
	英会話サークル 「英語を楽しむ」	講師と一緒に、和気あいあいと皆で楽しく英会話を学ぶ	1,3月曜の午前	10,000/半年
	英語と日本語学習会	英語と日本語の違いを比べながら、役立つ英語を学習する	2水曜の午前	800/月

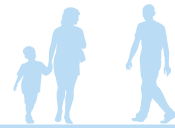
分野	団体名	活動内容	活動日	会費(円)
朗読	グループ朗	丁寧な指導の講師と一緒に、様々な分野の朗読に取り組む	1月曜の午前	1,000/月
	清朗会	様々な分野の本を朗読し、楽しさを学ぶ。小説や詩・評論等を教材に楽しく声を出す。	2月曜の午前	700/月
	オコサの会 (読みきかせ)	絵本を中心に読み聞かせを学んだり、わらべ唄を歌ったり、親睦を図る。子育て支援施設などでのボランティア	1月曜の午後	1,000/年
	朗読の会 「言葉の宝石心」	朗読表現の向上や地域の仲間との交流、健康維持などを目的とする	2,4火曜の午前	1,000/回
	こころつたえ	朗読を通じ会員相互の親睦をはかり、心身ともに健康な生活を営む	1・3水曜の午前	1,000/月
	たんぼぼ	朗読による自己表現を学び、自己啓発と会員相互の豊かな人間性の向上をはかる	2又は4金曜の午前	500/月
文芸・教養	短文を書こう会	所定のテーマで全員が短い随筆を書き合評し、会員相互の親睦を深める	2水曜の午後か 4土曜の午後	1,000/年
	「エッセイの会」	エッセイや文集の制作	1土曜の午後	5,000/年
	400字の会	400字のエッセイを書くことによって、会員間の親睦をふかめる	1水曜の午後	100/月
	随想友の会	心に残った情景や気持ちを文章にして表現し、講評しあいながら会員相互の親睦を深める	1金曜の午後	500/月
	文流の会	400字程度の随筆を作成し、相互で講評を行う	2金曜の午後	2,000/年
	多摩詩塾	詩を楽しむ	2水曜の午後	3,300/半年
	ケヤキ自由詩の会	自由詩に関する学習と発表活動を行い、会員の文化的向上と地域の発展に貢献する	1,3月曜	1,500/月
	日本の古典文学を学ぶ会	源氏物語の原文を音読し、名文の味わいを体感する	2,4金曜の午前	2,000/月
	“源氏物語を読む”会	源氏物語を通じて古典への理解を深める	4火曜の午前	3,000/半年+入 会時1,000
	中世古文書を読む会	歴史書「吾妻鏡」や、中世の古文書・文化等について学ぶ。史跡の探訪も行う	1月曜の午前	10,000/年
	ますげホトギス句会	伝統的な俳句を学び、吟行会で自然に親しみながら俳句を作る	句会：1土曜の午後 吟行会：4水曜	10,000/半年
	TAMA市民詩吟を楽しむ会	漢詩や短歌・俳句等を歌う(吟ずる) 初心者から学べる詩吟の会	2,4土曜の午前	1,500/月
	東京都多摩漢詩振興会	漢詩は自分で作れるようになって初めてその深い世界を味わえるようになります。初歩から作詩作法を指導。吟や書に留まらない作詩の世界へ	日曜(不定期)	500/回
	多摩漢詩研究会	漢詩・詩吟に関する研究や吟詠・史跡の探訪を通して、会員相互の親睦を図る	4木曜の午後	500/月
	宮沢賢治同好会「ゴ-シユの会」	賢治の童話や詩などを通して、彼の深い思想を学ぶ	4木曜の夜間	500/月
	漢字を考える会	日本語、特に漢字について、形や意味の変遷を学習・検討して理解を深める	2木曜の午前	1,500/半年
	日本語サロン	日本語を多角的に検証し、よりよい言語生活の一助とするとともに、多摩地域住民の交流を図り、社会的に貢献する。	月1回	500/月(6ヶ月分前納)
中国語で漢詩を楽しむ会	漢詩を中国語で朗読することで漢詩や中国文化の理解を深めると共に、多摩地域の文化の向上や会員相互の親睦を図る	月曜(月1回)	1,000/月	
長月の会	煎茶道の技術を高めることを通じて日本文化に親しみと共に会員の親睦を図る	1火曜(月1回)	1,300/月	
歴史・文化	多摩歴史くらぶ	日本の歴史について研究し、会員相互の親睦をはかる	2水曜の午後	500/回(半年分前納)
	T A M A文化遊学	シルクロード史、仏教史の学習を通じて文化財研究マインドを高める	平日夜間	2,000/月
	T A M A市民歴史文化研究会	日本の古代史や関連する中国史・古代朝鮮史について学ぶ	2,4火曜の午後	500/回
	歴史を楽しむ会	日本史を通して現在を知る。多摩地域の史跡の探訪も行う	1,3木曜の午後	500/月
	「歴史の道を歩く会」 府中会	多摩地域の歴史を探訪	不定期 (月1, 2回)	300/回 +1,000/年
	伝統文化を学ぶ会	国内外の歴史・風土や伝統文化等について学び、会員相互の親睦を図る	2土曜の午後	500/月
	世界の生活文化を学ぶ会	各国の生活文化や風習、各自の旅行体験談等を語り合う	土曜の午前 (月1回)	1,000/年
	新選組・江戸歴史研究 村瀬塾	新選組を中心にした歴史探求・探訪。全員参加型の運営を基本とする。活動を通して会員相互の交流をはかる	未定	10,000/年

分野	団体名	活動内容	活動日	会費(円)
旅	旅のたから箱	旅行に関する研究や旅行談の発表、旅行についての情報交換等を行う	4水曜の午前	入会時1,000のみ
	多摩紀行の会	多摩地域の街道をめぐり、様々な製本技術を用いて紀行文を作成	2,4火曜の午後	500/月
	シルクロードくらぶ	シルクロードやその周辺の国々の歴史や文化について学ぶ	奇数月の3水曜	1,000/年
	旅クラブ	海外・国内旅行の体験や報告を通じて、知識の習得と会員相互の親睦をはかる	1水曜の午前 (月1回)	必要時徴収
写真・映像	地球を撮ろう会	写真技術の向上と会員相互の親睦	不定期 (月1回)	10,000/年
	TAMAビデオクラブ	ビデオ撮影、編集、作品の講評や、技術・使用機器についての情報交換	2,4土曜の午前	500/月
	ビデオサークル 月曜クラブ	ビデオ作品の撮影や発表を通じて自己実現を図る	月曜または水曜の 午後(隔月)	500/回
書道・篆刻	府中ビデオサークル	映像制作の技術向上及び作品の上映を通じ、地域の交流を図る	2,4木曜の午後	100/月
	書に親しむ会	短歌・俳句・自作文、季節のお便り等をかな交り文(新和洋)で書くことで書道に親しむ	1,3金曜の午前	2,000/月
	蘭亭会	半紙・条幅を使用して書道の練習	2,4土曜の午前 (変更の場合もあり)	2,000/年
水墨画・水彩画・スケッチ	篆刻の会	篆刻の制作・文献の調査研究	2月曜の午後 (変更の場合もあり)	10,000/年
	墨劉会	中国の歴史や文化を学びながら水墨画を描く	2,4月曜の午後	2,000/月
	ヨーロッパの田舎 ウィークエンドの手工芸	ちょっとした日常を彩るハンドクラフト作りや南欧風ツールペイント製作を通じて、楽しいスローライフを実践	2,4金曜の午前	1,500/月
	TAMAスケッチ同好会	静物画スケッチや多摩地域周辺での風景スケッチ	2,4土曜の午前	1,500/月
	遊画会	多摩地域を中心に戸外で淡彩スケッチ等	2,4金曜の午前	11,000/半年
	水墨画サークル会	自身の個性を活かし、自由なテーマで水墨画を描く	1,3水曜の夜間	1,500/回
	コスモスの会	四季折々の草花をモチーフにハガキ絵(文人画)を作成	3水曜の夜間	700/月
	武蔵野スケッチ同好会	多摩地域を中心に、戸外で自然や風景のスケッチ等	2,4木曜 (10~15時)	1,000/月
	絵てがみサークルかえで	季節ごとにテーマを決め、絵てがみを作成	毎週木曜の午前	2,000/月
	水彩画月曜会	水彩画の制作や静物画のスケッチ	2,4月曜の午後	1,000/月 +1,000/半年
	多摩淡彩の会	淡彩・水彩画の技術習得を通じて会員相互の親睦を図る	3月曜の午後	1,000/月 +4,000/年
	スケッチ300	多摩地域の公園等で、ペン画による淡彩スケッチ等	2,4火曜	入会時1,000 +7,000/半年
	日本画の写生を楽しむ会	季節の花、静物をモチーフにして日本画のスケッチ	2,4月曜の午前	3,000/月(材料代等込み)
	七墨会	水墨画の会	1,3月曜の午後 (変更の場合もあり)	500/月
	楽水会	水彩画を楽しく学びながら地域交流に貢献する	1,3木曜の午後	1,500/月
	水彩コスモス	絵を描く技術を学び、会員の親睦をはかる	1火曜の午後	1,300/月(雑費含む)
	画楽	デッサン・絵画に関する創作活動	1,3火曜の午後	1,000/月 +1,000/半年
	スケッチ仲間会	絵を描く技能の向上と、会員相互の親睦を図る	不定期(月1回)	必要時徴収
	エンジョイ・ペインティング	ツールペイントの学習を通じて創作活動を行い、多摩地域の生涯学習の発展に寄与する	木曜の午前 (月2回)	2,000/月
	きりえ・折紙	きりえグループ 「きり友」	きりえ創作の基本技術の習得と個々の個性を生かした創造性を養う	2,4金曜の午後
多摩きりえの会		自分が描いたスケッチなどをもとに紙などを切り、貼り合わせてオリジナル作品を作る	1,3金曜の午前	入会時1,000のみ
多摩折紙研究会		季節ごとのテーマにそった折紙作品の制作を通じて世代・文化の交流を図る	4木曜の午後	500+材料費/月

分野	団体名	活動内容	活動日	会費(円)	
花	花のアトリエ風花	花と工作を一度に楽しみ、個々の“らしさ”を大切にするフラワーアレンジメントの会	3水曜	会費及び花・資材代として3,500/回	
	フラワーセラピーティーツリー	主にワイルドフラワーを使ったフラワーセラピー	4水曜の午後	花代として2,500~4,000	
手芸・工芸	楽しいパッチワークキルト	優しい色あいの小物などをパッチワークで制作	3水曜の午前	500/月	
	彩々の会	草木染で染めた糸や布で作品を作り、生活に取り入れて楽しむ	3火曜または2金曜	入会時3,000	
暮らし・福祉	ラボ国際交流	多摩地域周辺の青少年、家族の集まり。国際交流や異文化理解を促進する	木曜の夜間	500/月	
	特定非営利活動法人 東京雑学大学	生涯学習講座の実施(年間50回)	2木曜または日曜の午後	会員5,000/年 非会員500/回	
	多摩の暮らしを考える コミュニティ・ネットワーク	多摩地域の消費者団体・市民団体と連携し、情報交換を通して生活の向上を図る	不定期	なし	
	楽修しませんか	生活の中にある技術を習得	不定期	なし	
	東京都多摩地区生涯学習インストラクターの会	生涯学習の推進に関する情報交換を行い、地域の発展を促す	不定期	2,000/年	
	NPO法人 全国生涯学習ネットワーク	生涯学習活動を行う団体と連携し、事業のネットワーク化を図る	2木曜の午後	6,000/年	
	減農野菜クラブ	減農野菜栽培に関する知識を学ぶとともに、農家等の現地見学を通じて安全な栽培活動を行う	不定期	1,000/年	
	たまりばユネスコ倶楽部	ユネスコ憲章の精神にのっとり、世界の平和と人類の福祉のために活動する	世界遺産講座：3日 17日自由大学：3木	5,000/年	
	ごみ・環境ビジョン21役員会	ごみに関する情報を収集・発信し、環境に関する知識を深める	不定期	なし	
	三多摩「学校・職場のいじめ」ネットワーキング実行委員会	学校や職場でのいじめ問題への対応策を学ぶ	奇数月の3土曜の午後	1,000/年	
	大人・子供のいじめ問題を素人の目から語る会	いじめ問題に関する話し合い。被害者本人及び家族の無料相談	原則金曜の夜間	なし	
	SLA年金・福祉研究会	年金・福祉・相続等についての学習、研究	1月曜の午後	1,000/年	
	TAMA健康茶論の会	健康で長生きするための知識や技術について学習する	3または4月曜の午後	500/月	
	福祉と生きがいを考える会	充実したセカンドライフを送る知識と技術の習得。「マイノート」の書き方講座の開催	不定期(月1回)	なし	
	けやきの会	メンタルヘルスに関する支援活動を中心に、会員の自己研鑽及び住民同士の交流を図り社会貢献をする	月1回	1,000/年	
	平成25年の家庭菜園クラブ	安全で丈夫な野菜栽培活動を通じて、会員及び地域に対し食の安全に関する知識向上に貢献する	年4回(3・6・9・12月)	1000/年	
	薬膳研究会	多摩地区の農作物を利用し、健康な身体を作る	未定	2,000/月	
	はんぺんの会	ガーデニングに関する情報交換、勉強会を行い、自然に親しむことで多摩地域の文化向上をはかる	年4回程度	500/回	
	野外活動	みきの会	植物観察を通して会員相互の親睦をはかる	第3木曜(午前～午後)	1,000/半年
		樹木観察「クロモジの会」	主に里山を巡り、環境や季節による樹木の生育を学ぶ	2水曜(戸外)	3,000/半年
ライフプランナー多摩の会		多摩地域で、年6回のウォーキング・散策等を通して、高齢者の元気な生活を支援	参加者と応相談	1,000/年	
多摩文学散歩の会		多摩地区を中心に、文学の周辺をめぐるウォーキングにより文学に親しみ、理解を深めることを目的とする	年4回程度	1,000/年	
そのほか	東京アマチュア無線ネットワーク	アマチュア無線に興味を持つ団体、個人間の情報交換や相互交流	日曜の午前	なし	
	アロマセラピーの会	アロマセラピーに関する学習を通じて会員相互の親睦を図る	土曜の午前(月1回)	600+材料費/月	
	多摩百人一首かるた大会実行委員会	かるた遊びの普及・振興。かるた大会による地域交流	不定期	なし	
	美術集団 多摩アンデパンダン	多摩地域を中心にアンデパンダン(自由な創作発表の場)の理念を掲げ、地域の活性化をめざす	不定期	5,000/年	

多摩交流センター

■ 会議室利用団体からの寄稿 (4 団体)



きりえ、26年のあゆみ

- 団体名 きりえグループ「きり友」
- 文責者名 窪田 俊子
- 登録年 平成 6 年
- 活動日 毎月第 2・4 金曜日
午後 1 時 30 分～午後 4 時
- 会員数 25 名
- 活動内容 (毎年各 1 回)

- ①きり友展 (浅草橋教室と交流)・講師個展
- ②東京きりえ美術展 (東京都美術館)
- ③府中文化祭工芸展
- ④日本きりえ美術展
- ⑤干支きりえ色紙カレンダーの講習



作品
「雪の合掌村」
窪田俊子作



平成 26 年 6 月の展示会の様子

平成元年、都立神代高校 PTA 活動の一環として企画されたきりえの会。参加者も多く好評で、“これからも続けたい”との要望に応じて、きりえグループ「きり友」が誕生しました。

会場の選定も、仙川→府中を探して、東京電力の会議室などを利用していました。多摩交流センターを知り、ようやく永住の地を見つけ、ホッとして本当に嬉しかったです。

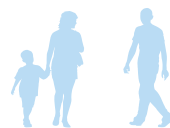
居が定まったことで、きりえに関心のある人たちを分け隔てなく受け入れることができました。気がつけば 25 名の大所帯。出席率が高い時は、学校のセミナー教室のようです。地域も各方面から参加するのは日常のことです。

各個人の個性、独創性を尊重しながら、お互いに切ってきたものを見せ合い、刺激を与え合いながら、楽しく充実した勉強を続けています。

毎年、市の文化祭 (工芸展) に参加することで、多方面の様々なサークルからの出品作に感心したり、交流の場を広げたりしています。また、干支色紙カレンダー作りも定番化して、切ること、創作することの喜びを共に分かち合っています。

この度、多摩交流センターの開設 20 周年を迎え、お仲間たちの作品が展示されて、改めてその素晴らしさに目を奪われています。無から有を創り出すための、静かで広々とした環境づくりに、いつも感謝して活動しています。

多摩交流センターと葵の会



- 団体名 葵の会
- 文責者名 高垣 葵
- 登録年 平成 7 年
- 活動日 毎月第 1・3 火曜日
午後 7 時～午後 9 時
- 会員数 82 名
- 活動内容 葵の会は平成 7 年、TAMA 市民塾の講座『俳優してみませんか?』から発足した、演劇を楽しむ会。演劇を通じて「演劇を見る楽しさと演じる楽しさ」を多摩地域の市民に理解してもらうことを目的として活動している。



アルヘンチーナの花嫁



マジョルカの雨

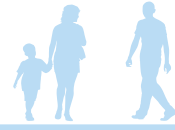
そもその発端は、20 年近い昔、『俳優してみませんか?』という講座で会員を募集したことから「葵の会」はスタートした。40 名近い人たちが集まって会員となり、活動を開始した。多摩交流センターの第 2・第 3 会議室をお借りして、毎月第 1・第 3 火曜の夕方 7 時から 9 時まで、会員たちは稽古に励んでいる。演劇の面白さ、楽しさを分かち合うために、研鑽を重ね、そして出来栄が 70～80 点になったとき、近くの府中の「グリーンプラザ」を借りて発表する。経費はゲネプロ（最終稽古日）と本番の日の二日間で約 7 万円近くかかるが、これは月々千円の会費でまかなっている。

公演を見に来る観客は、会を重ねる度に増加し、昨今はほとんど客席も満席で、多摩地域の市民の交流にも役立っている…と自負している。公演の演目は、西條八十（作詞家）を主人公にしたものや、遠藤実（作曲家）を主役にしたストーリーが多い。

「葵の会」会員はさらにバラエティに富んだレパートリーを公演する考えだ。現に観客は年々増加。府中市、調布市、立川市等からも来てくれる。町田市や相模原市（神奈川県）…etc. からも増加している。広域、多岐にわたっているのが実に喜ばしい。それ故に、作品内容も演じる者も、更に努力せねばならない。

そして演目も、ショパンを題材にした『マジョルカの雨』。更にブラジルや、アルゼンチンに移住した日系移民の『アルヘンチーナの花嫁』等々の公演も志している。更には、ルイ 16 世と共に断頭台にかけられたフランス王妃マリーアントワネットも、葵の会では、『革命に踊るパリ』という題目で発表済みだ。こうして会としては、日本、外国と問わず演目を広げている。「葵の会」は、更に将来に向けて充実した手づくりの劇を目指す市民劇団として、会員は全員、稽古に励んでいく。

府中、駅前旅行



- 団体名 旅のたから箱
- 文責者名 岡崎 志織
- 登録年 平成 10 年
- 活動日 毎月第 4 水曜日 午前 10 時～
- 会員数 20 名
- 活動内容 食、文化、観光、宿泊、費用、通貨、地理、気候、衣、語学、記録、写真、ビデオ、トラブル等々、旅に関するあらゆる事柄の情報交換、意見交換及び研究



調布・神代植物公園にて

多摩交流センター開設 20 周年、おめでとうございます。多摩交流センターの一室をお借りして会を続けることができ、本当に感謝しております。

私どものサークルは平成 10 年に発足以来 16 年間、月 1 回のペースで交流の場を持たせていただいております。その間メンバーの旅への探究心は尽きることがなく、ほぼ毎回どなたかが、国内外の旅の情報を提供してくださっています。

それぞれの置かれた立場は様々で、活きた情報を得てすぐにでも出かけられる人、ご自身の健康状態、あるいは家庭や家族の事情などで、お話を聞いて想像を膨らませ、いつかは行きたいとまだ見ぬ地に思いを馳せる人、みなさんそれぞれの方法で旅を楽しんでいらっしゃるようです。そして参加しているすべての人に共通なことは、みんな旅をこよなく愛している人達だということです。

私も最近仕事は忙しく、親の介護や看病もあり、次に旅行できる日はいつになるかという日々を過ごしておりますが、月 1 回サークルに参加してお話を伺うだけで、実際に旅に出た気分になり、心が晴々としてまた頑張ろうというエネルギーが湧いてきます。

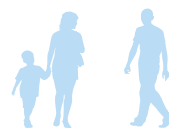
「府中、駅前旅行」。私はひそかにこのサークルの事をこう位置付けていますが、府中の駅前に来れば日本中、世界中色々なところに、居ながらにして旅行できることはありがたいことです。

様々な分野のゲストスピーカーにもおいでいただいて、貴重なお話を伺うこともあります。マレーシアやカナダのロングステイ、旅の思い出の整理法、英会話、時には府中を飛び出して遠足に行ったり、活動の場はさらに広がっています。

今後とも府中駅前けやき通りでの、月 1 回の旅行を楽しみにしています。興味のある方はぜひお出かけください。

そして、多摩交流センターのますますのご繁栄をお祈りしております。

スポーツ吹矢で毎日いきいき！



- 団体名 スポーツ吹矢「いぶき会」
- 文責者名 平久保 康子
- 登録年 平成 24 年
- 活動日 毎月 3 回各 2 時間
(日曜日午前または土曜日午後)
- 会員数 15 名
- 活動内容 毎回基礎技術を振り返りながら自主練習を続け、月 1 回専任講師をお招きして、技術の向上を目指しています。また、年 2 回程度軽食会等を通じて講師と会員相互の交流と親睦をはかっています。



的に集中して一気に吹きます

スポーツ吹矢「いぶき会」は、TAMA 市民塾の講座を修了した仲間からスタートした、自主サークルです。私たちは、平成 23 年 10 月、初めて吹矢に触れ約 10 ヶ月間学びました。講座が終了した後、「吹いた矢が的に当たった時の快感」と、「スポーツをした後の爽快感」に魅せられ、ぜひ続けていきたいという声が高まり、自主グループを設立、「日本スポーツ吹矢協会」の荒木先生に指導を受けながら、活動を続けています。最初は、6 m の距離から始め、7 m・8 m と距離を延ばしていきます。上達すると、2 級・1 級～初段と認定を受けることもできます。

スポーツ吹矢は、小学生から、学生、年齢を重ねた人や車椅子の方まで、誰でもが取り組める一方、奥が深いスポーツです。時々テレビなどで健康に良いと取り上げられ、少しずつ知られることとなり、今では、大学等の教育に導入しているところもあるそうです。昨年は、国民体育大会のデモンストレーション競技として紹介もされました。武道に通じる礼儀作法も求められ、気持ちが引き締まり、快いひと時を過ごしています。興味をお持ちの方はぜひ会場を覗いてみてください。



★姿勢が良くなる。矢が当たった時に気分がすっきりする。誰でもできるが、奥が深～い！

★集中力がつく。吹く時のわずかな精神力の違いで、矢が左右されるのが面白い。

★仲間がいい。来るのが楽しい。時々笑える雰囲気がいい。(コーチがいるときは真剣です…)

